



新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

日本語ガイダンス資料



新潟大学国際交流センター

新潟大学で学ぶ日本語について

日本語は、ウェブ教材などを使えば一人でも学ぶことができます。

しかし、自分の考えや気持ちを日本語で相手に伝える力を身に付けることは、独学だけでは簡単ではありません。

新潟大学では、この「発信するための日本語力」を身に付けることを重視しています。

さまざまな場面に応じて、自分の考えを日本語で的確に伝えるためには、適切な表現をすぐに使える状態にしておく必要があります。

そのためには、文法の知識だけに頼る学習から一歩進むことが大切です。

これまで一生懸命勉強してきたにもかかわらず、「うまく伝えられない」と感じている人も多いのではないのでしょうか。文法の理解は重要ですが、それだけでは実際に使える力にはつながりにくいのです。

日本語を使いこなせるようになるためには、実際に使うためのトレーニングが必要です。

これはスポーツの上達と似ています。

ただやみくもに練習するだけでは上達しません。まずは基本の型を身に付け、それを繰り返し練習することが重要です。そうした基礎がしっかりしていれば、やがて自分なりの使い方、つまり応用する力が身に付いていきます。

新潟大学では、この「基本の型」を身に付けるために、「日本語を学ぶ」授業として発話・対話と作文の科目を用意しています。

さらに、基礎が身に付いている人には、「自分の型」を伸ばすための読解や専門的な授業も開講しています。

また、「日本語で学ぶ」授業では、日本語で書かれたさまざまな文章を読む読解科目に加え、日本での就職を目指す学生向けの授業や、日本人学生と一緒に学ぶ共修授業にも参加できます。さらに、日本社会や文化について学ぶ機会も用意されています。

自分に合ったレベルと目的に応じて授業を選びながら、日本語で学び、発信する力を段階的に身に付けていきましょう。

I.日本語を学ぶ

—『基本の型』の習得を目指した授業—

【はじめに】

日本語レベルについて

- ・初級：JLPT N5～N4
- ・中級：JLPT N3
- ・上級：JLPT N2 以上

日本語能力試験>N1～N5:認定の目安

<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

CEFR の目安

- ・CEFR A1：N5 相当
- ・CEFR A2：N4 相当
- ・CEFR B1：N3 相当

【授業の期間】

- ・ターム開講（8 週間）
短い期間で集中的に学びます
- ・セメスター開講（15 週間）
2 つのタームを通じて継続的に学びます

【授業科目について】

- ・作文
(セメスター開講)

科目名	到達目標レベル	内容
日本語作文Ⅰ	JLPT N3	日本語レベル別に分かれていますが、それぞれのレベルで作文力を身に付け、総合的に日本語力を向上させることが目的です。
日本語作文Ⅱ	JLPT N2	
日本語作文Ⅲ	JLPT N1	
日本語作文Ⅳ	JLPT N1 以上	

- ・発話、対話
(ターム開講)

科目名	到達目標レベル	内容
日本語Ⅰ	CEFR A1	日本語（Ⅰ～Ⅶ）

日本語Ⅱ	CEFR A1	CEFR のレベル別に分かれています。実際の場合で日本語を使ってコミュニケーションできるようになることが目的です。
日本語Ⅲ	CEFR A2	
日本語Ⅳ	CEFR A2	

(セメスター開講)

科目名	到達目標レベル	内容
日本語Ⅴ	CEFR A2～B1	日本語入門 自然な日本語の暗誦を中心とし、口頭運用力を養います。 コミュニケーション日本語入門 日本語をたくさん聞き、話す練習をします。
日本語Ⅵ	CEFR B1	
日本語Ⅶ	CEFR B1	
日本語入門	CEFR A1	
コミュニケーション日本語入門	CEFR A1	

— 『自分の型』の習得を目指した授業（さらに日本語に関わる知識をインプットする） —

(セメスター開講)

科目名	内容	
日本語読解Ⅰ	Ⅰ：新聞記事など	さまざまな日本語の文章を読み、内容を理解し、自分の考えを日本語で表現する力を身につける授業です。 Ⅰ～Ⅵは内容が異なります。 ※JLPT N2 以上が望ましい。
日本語読解Ⅱ	Ⅱ：論文の読解など	
日本語読解Ⅲ	Ⅲ：新聞の論説文など	
日本語読解Ⅳ	Ⅳ：詩歌など	
日本語読解Ⅴ	Ⅴ：小説など	
日本語読解Ⅵ	Ⅵ：和歌・俳句など	

(ターム開講)

- ・ 英語による日本語文法解説
- ・ 中国語による日本語文法解説

日本語の文法について、解説するレクチャー（一方向型）授業です。

いずれも中級（JLPT N2 レベル）の教科書を使用します。

—『ビジネス日本語』『日本で働く』について—

(セメスター開講)

- ・ **ビジネス日本語**
- ・ **日本で働く**

日本での就職活動や職場に必要な知識と実践的な日本語力を身に付けます。

※JLPT N2 以上が望ましい。

2. 日本語で学ぶ

(ターム開講)

- ・ **多文化間共修 A/B/C/D**
- ・ **アクティブラーニング B/C**

(セメスター開講)

- ・ **国際共修 A/B**

日本人学生と留学生と一緒に学び、グループワークやディスカッション、協働プロジェクトを通じて、異文化理解やコミュニケーション能力、課題解決力を高める授業です。

※多文化間共修 A は日本語・英語両方を使用。

アクティブラーニング B は日本語・英語両方、C は主に日本語で行います。

3. 英語で学ぶ

(ターム開講)

- ・ **アクティブラーニング A**
- ・ **日本と外国人 A/B/C/D**

日本人学生と留学生が英語でグループワークやディスカッションを行い、日本の文化や社会に対する理解を深める授業です。

- ・ **日本文化入門 I / II**

日本の文化や社会、生活習慣について学び、グループワークやディスカッションを通じて日本への理解を深める授業です。

4.履修・注意事項

■シラバスの確認

授業内容や開講時期、開講の有無は年度や学期、タームによって異なる場合があります。履修前に必ず最新のシラバスを確認しましょう。

<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/life/class/course/>

※オンライン授業 ZOOM の場合、「授業連絡通知」でアクセス情報を確認する。

※対面授業の場合、シラバスに書いてある教室に行く。

■履修申請

- ・履修は学務情報システムで行います。
- ・入学日（9 月 20 日（日））以降から申請できます。

■履修申請期限

- ・第 1・3 ターム科目（ターム開講・セメスター開講科目）
→初回授業の前日まで
- ・第 2・4 ターム科目（ターム開講科目）
→当該タームの履修申請期限まで
※年度によって異なるため、学務情報システムで確認してください。
※2026 年度第 2 学期（第 3 ターム）の授業期間は 10 月 2 日（金）
から始まります。

■授業について

- ・対面授業とオンライン授業があります。
- ・オンライン授業の場合、PC またはタブレットが必要です。
- ・Zoom・Teams が使えない場合は受講できない科目があります。

■受講対象

- ・正規学部生および協定校からの学部交換学生が優先です。
- ・大学院生・研究生は、クラスに余裕がある場合に受講できます。
- ・学生の家族・研究員・外国人教員は受講できません。

2026年度第2学期（第3・第4ターム）日本語・多文化関連科目

※2026年9月20日から学務情報システムで履修申請ができます。

※受講したい科目のシラバスを確認してください。

シラバス検索：

<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

【第3・4ターム通して開講 2026年10月2日～2027年2月12日】 ※第1回目の授業日の前日までに申請してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	定員	日本語 初中級者向け ✓	オンライン✓ により実施
260G4501	JLPT-N1 C	1	第3,4ターム	金 3	20		対面
260G4512	日本語作文Ⅰ	1	第3,4ターム	木 2	10		対面
260G4513	日本語作文Ⅱ	1	第3,4ターム	水 2	10		対面
260G4514	日本語作文Ⅲ	1	第3,4ターム	火 1	10		対面
260G4515	日本語作文Ⅳ	1	第3,4ターム	木 4	10		対面
260G4516	日本語読解Ⅰ（事実関連読解：教科書や新聞記事など）	1	第3,4ターム	月 3	30		対面
260G4517	日本語読解Ⅱ（事実関連読解：論文など）	1	第3,4ターム	金 2	30		対面
260G4518	日本語読解Ⅲ（事実関連読解：新聞の論説文など）	1	第3,4ターム	金 4	30		対面
260G4519	日本語読解Ⅳ（文学読解：詩歌など）	1	第3,4ターム	月 4	30		対面
260G4520	日本語読解Ⅴ（文学読解：小説など）	1	第3,4ターム	木 3	30		対面
260G4521	日本語読解Ⅵ（文学読解：和歌など）	1	第3,4ターム	火 3	30		対面
260G4526	日本語入門	3	第3,4ターム	月 4 / 火 4 / 水 4	20	✓	✓ Zoom
260G4527	コミュニケーション日本語入門	2	第3,4ターム	火 4 / 金 4	15	✓	✓ Zoom
260G4510	日本語Ⅴ	4	第3,4ターム	月 3 / 火 3 / 水 3 / 木 3	20	✓	対面
260G4511	日本語Ⅶ	5	第3,4ターム	月 4 / 火 4 / 水 4 / 木 4 / 金 4	20		対面
260G4532	ビジネス日本語	2	第3,4ターム	水 3	32		対面
260G4533	日本で働く	2	第3,4ターム	金 2	24		対面
260G3737	国際共修：グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB	2	第3,4ターム	木 3	30 (15/15)*		対面
260G3738	国際共修：留学生との協働学習を通じた異文化理解B	2	第3,4ターム	月 3	30 (15/15)*		対面

*留学生15名/日本人学生15名

【第3タームのみ開講 10月2日～12月1日】 ※第1回目の授業日の前日までに申請してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	定員	日本語 初中級者向け ✓	オンライン✓ により実施
263G4502	英語による日本語文法解説	1	第3ターム	水 2	50		対面
263G4504	中国語による日本語文法解説	1	第3ターム	火 2	50		対面
263G4506	日本語Ⅰ	2	第3ターム	月1/火1/水1/木1	20	✓	✓ Zoom
263G4508	日本語Ⅲ	2	第3ターム	月4/火4/水4/木4	20	✓	対面
263G4528	日本文化入門Ⅰ	1	第3ターム	金 1	100	✓	✓ Zoom
263G4530	日本文化入門Ⅱ	1	第3ターム	水 5	50	✓	対面
263G3718	アクティブラーニングA	1	第3ターム	水 3	50	✓	対面
263G3721	アクティブラーニングC	1	第3ターム	木 3	30 (15/15)*		✓ Zoom
263G3731	日本と外国人C	1	第3ターム	木 2	100	✓	✓ Zoom
263G3723	多文化間共修A 1	1	第3ターム	水 1	50 (25/25)**	✓	対面
263G3725	多文化間共修B 1	1	第3ターム	木 2	50 (25/25)**		対面
263G3727	多文化間共修C 1	1	第3ターム	月 2	30 (15/15)*		対面
263G3729	多文化間共修D 1	1	第3ターム	火 2	30 (15/15)*		対面

*留学生15名/日本人学生15名 **留学生25名/日本人学生25名

【第4タームのみ開講 12月3日～2月12日】 ※10月8日までに申請してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	定員	日本語 初中級者向け ✓	オンライン✓ により実施
264G4503	英語による日本語文法解説	1	第4ターム	水 2	50		対面
264G4505	中国語による日本語文法解説	1	第4ターム	火 2	50		対面
264G4507	日本語Ⅱ	2	第4ターム	月1/火1/水1/木1	20	✓	✓ Zoom
264G4509	日本語Ⅳ	2	第4ターム	月4/火4/水4/木4	20	✓	対面
264G4529	日本文化入門Ⅰ	1	第4ターム	金 1	100	✓	✓ Zoom
264G4531	日本文化入門Ⅱ	1	第4ターム	水 5	50	✓	対面
264G3719	アクティブラーニングA	1	第4ターム	水 3	50	✓	対面
264G3720	アクティブラーニングB	1	第4ターム	水 1	30 (15/15)*		対面
264G3722	アクティブラーニングC	1	第4ターム	木 3	30 (15/15)*		✓ Zoom
264G3732	日本と外国人D	1	第4ターム	木 2	100	✓	✓ Zoom
264G3724	多文化間共修A 2	1	第4ターム	水 1	50 (25/25)**	✓	対面
264G3726	多文化間共修B 2	1	第4ターム	木 2	50 (25/25)**		対面
264G3728	多文化間共修C 2	1	第4ターム	月 2	30 (15/15)*		対面
264G3730	多文化間共修D 2	1	第4ターム	火 2	30 (15/15)*		対面

*留学生15名/日本人学生15名 **留学生25名/日本人学生25名